

地域循環共生圏 フォーラム 2024

環境省
Ministry of the Environment

Zoom
開催

参加費
無料

※事前申込が必要です

オープニング 9:30 ~ 10:50

基調講演 「ウェルビーイングなまちづくり」

登壇者

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授、
武蔵野大学ウェルビーイング学部 学部長

前野 隆司 氏

1984 年東京工業大学卒業、1986 年同大学修士課程修了。キヤノン株式会社、カリフォルニア大学バークレー校訪問研究員、ハーバード大学訪問教授等を経て、現在慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授。2024 年4月より武蔵野大学ウェルビーイング学部学部長兼務。博士（工学）。専門は、システムデザイン・マネジメント学、幸福学、イノベーション教育など。



対 談

前野 隆司 氏 ×

一般社団法人
環境パートナーシップ会議
理事・事務局長
尾山 優子 氏

ファシリテーター

地域循環共生圏プラットフォーム
コーディネーター
高橋 真寿美 氏

分 科 会

11:00 ~ 17:00

※プログラム内容は、今後変更になる可能性があります。

分科会
1

持続可能な地域をつくるとは？
～先輩の経験に学ぶ、
地域循環共生圏づくりのやり方～

分科会
3

このままでは持続不可能？
地域をリバース（reverse, rebirth）
させよう！上田リバース会議

分科会
5

1,000人の有志と取り組む
ネイチャーポジティブな地域づくり
～阿蘇の草原を次世代に～

分科会
7

ぼちぼち山業（さんぎょう）で
豊かな生活スタイルを
～ゆる～く始める地域づくり～

分科会
2

森林資源活用で逆境を乗り越える。
下川町の挑戦！

分科会
4

地域の資源をふんだんに使って地域の
力を強くする！真庭の強さの秘訣

分科会
6

地域づくりに関わる主体をどんどん巻き
込む！戦略的人たらしになる極意とは

分科会
8

地域が元気になる！環境・社会・経済
の同時解決とは？～持続可能な地域を
未来へつなぐ菜の花エコプロジェクト～

関係省庁による地域循環共生圏づくりに関連した事業・取組紹介

対 象

自治体職員の方や、まちづくりに関わる民間団体・企業・個人の方をはじめとした、
・地域課題を解決したいけど、取組のきっかけや具体のアクションが分からない方
・地域づくりで壁にぶつかっていて、解決のヒントを探している方

Zoom開催 参加費無料

開催日時

令和6年

11月14日 木 9:30~17:00

定 員

基調講演
各分科会 300名程度

※事前申込が必要です

申 込 先

問い合わせ先

※本フォーラムについてはご希望のセクションのみの参加も可能です。
※マスコミ関係者の取材希望は下記フォーラム事務局へご連絡ください。

<https://www.erca.go.jp/jfge/news/form/chiikiikyunkankyoseiken-forum2024/input.html>

地域循環共生圏フォーラム 2024 事務局

（独）環境再生保全機構

益田・永井

✉ local_sdgs@erca.go.jp



申込締切

11/7 木

定員に達し次第、締め切らせていただきます。
また、定員上限に達した場合、希望のセクションに参加できない場合があります。

プログラム詳細

環境・社会・経済の同時解決で、好循環を生み出し、
様々なステークホルダーを巻き込むヒントをご紹介します！

※ プログラム内容は変更する可能性があります。
※ 分科会①～⑧は、プログラム内にて登壇者との意見
交換や質疑応答の時間（15分間）を設けています。

9:30 9:35	開会挨拶：環境省	
9:35 10:50	オープニング 基調講演「ウェルビーイングなまちづくり」 登壇者 前野 隆司 氏（慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 教授、武蔵野大学ウェルビーイング学部 学部長） 対談 前野 隆司氏 × 尾山 優子氏（一般社団法人 環境パートナーシップ会議 理事・事務局長） ファシリテーター 高橋 真寿美 氏（地域循環共生圏プラットフォーム コーディネーター）	
11:00 12:00	分科会 1 持続可能な地域をつくるとは？～先輩の経験に学ぶ、地域循環共生圏づくりのやり方～ 登壇者 平田 英治 氏 × 小原 賢二 氏 × 江口 健介 氏 NIGATA MUSIC LABORATORY 代表 (地球環境パートナーシッププラザ) 社会事業化団体SHE GEOC 「地域づくりに取り組みたいけど、何から始めれば良いかわからない・・・」という方への入門編です。多くの地域づくりの取組の現場を見てきた GEOC 江口氏をファシリテーターに、地域循環共生圏づくりに取り組んできた先輩実践者の取組事例から、地域での失敗・成功談含めて地域づくりの全体像とそのポイントをお伝えします！	分科会 2 森林資源活用で逆境を乗り越える。下川町の挑戦！ 登壇者 下川町 総務企画課長 兼 地球温暖化対策推進室長 山本 敏夫 氏 基幹産業の衰退、交通網の縮小、人口減少、少子高齢化・・・これらは今後多くの自治体で地域課題になってくる、またはすでになっているのではないのでしょうか。北海道下川町では 30 年以上前に、鉱山の閉山、産業構造の変化とそれによる人口急減を経験しています。そんな中、ピンチをチャンスと捉え、様々な挑戦をしてきた「しもかわイズム」から、地域づくりの障壁の乗り越え方を学びます！
13:00 14:00	分科会 3 このままでは持続不可能？地域をリバース（reverse, rebirth）させよう！上田リバース会議 登壇者 一般社団法人自然エネルギー共同設置推進機構 (NECO) 企画部長 浅輪 剛博 氏 脱炭素で先進的な動きをしてきており、脱炭素先行地域にも選定された長野県上田市。その背景には、市民・行政・事業者・金融機関・議員が垣根を越えて対話する「上田リバース会議」の存在が。そこで話し合われた、ファクトに基づく持続不可能性と、それを持続可能に変えていくためにみんなで考えた過程から、あなたの地域を持続可能にするヒントを得ませんか？	分科会 4 地域の資源をふんだんに使って地域の力を強くする！真庭の強さの秘訣 登壇者 石田 明義 氏 × 藤田 浩史 氏 × 牧 一穂 氏 真庭市産業観光部 真庭市生活環境部環境課 課長 農業振興課農政企画室 室長 十字屋グループ 代表 「里山資本主義」や「真庭ライフスタイル」をビジョンとして打ち出し、「自力で生き残れる地域」を目指して地方創生の最先端を走ってきた真庭。そこでは何が起きているのか。どんな考え・行動のもと、持続可能な地域に向けて常にリードしてこれたのか。これからの時代に求められる地域づくりの秘訣を存分に語っていただきます。
14:10 15:10	分科会 5 1,000人の有志と取り組むネイチャーポジティブな地域づくり～阿蘇の草原を次世代に～ 登壇者 公益財団法人阿蘇グリーンストック 専務理事 増井 太樹 氏 熊本県阿蘇地域では、地域住民を支援する形で野焼き支援ボランティア活動などの草原保全活動が行われています。地域の自然資源を維持・回復しながら草原をもとにした価値づくりを行う、そんなネイチャーポジティブ×地域づくりの事例をご紹介します！	分科会 6 地域づくりに関わる主体をどんどん巻き込む！戦略的人たらしになる極意とは 登壇者 環境パートナーシップ協議会 サソテナやお 副代表、岡見 厚志 氏 World Seed 代表理事 希少生物である「ニッポンバラタナゴ」の保全や廃校活用から始まった八尾での地域づくり。コミュニティナース、不動産屋、学校の先生、行政職員など、実に多様な主体を地域づくりの主体として巻き込み、また、その応援者として近畿日本鉄道や地域の企業、地域金融機関をも巻き込んだ取組に発展させています。そんな岡見氏に学ぶ戦略的人たらしの極意、地域づくりに関わる主体を巻き込みたい方、必見です！
15:20 16:20	分科会 7 ぼちぼち山業（さんぎょう）で豊かな生活スタイルを～ゆる～く始める地域づくり～ 登壇者 白井 理恵 氏 × 岩瀬 文人 氏 NPO法人大月地域資源活用協議会 四国海と生き物研究室 代表 高知県大月町の NPO 法人大月地域資源活用協議会では、「ぼちぼち」をキーワードに、肩の力を抜いて、当たり前前に生活の一部として関わられるような地域づくりのあり方を表現していこうとしています。そんな素敵な空気感で、地域の人を巻き込んでいる先輩に、どうやって地域の人に話しかけたらいいの？をじっくりお聞きます。地域づくりをしたいけど、最初の一步が踏み出せない・・・そんな方にお勧めです。	分科会 8 地域が元気になる！環境・社会・経済の同時解決とは？～持続可能な地域を未来へつなぐ菜の花エコプロジェクト～ 登壇者 NPO法人愛のまちエコ倶楽部 事務局長 伊藤 真也 氏 地域を元気にする秘訣の1つ、「地域の環境・社会・経済課題の同時解決」とはどういうことか？地域の中で好影響を生み出している、菜の花を通した地域内資源循環・脱炭素モデル「菜の花エコプロジェクト」を事例にヒントを探ります！
16:30 17:00	関係省庁による地域循環共生圏づくりに関連した事業・取組紹介 各省庁から、地域循環共生圏づくりに関連する事業や取組事例をご紹介します。各省庁の担当者へ気軽に質問いただけるよう質疑応答の時間も設けています。地域循環共生圏の視点を持って事業に取り組みたいと思っている方、今後の事業で補助金活用を検討されている方、ぜひこの場をご活用ください。	
17:00	閉会	

「緑色」は、これから地域づくりに取り組む方におすすめ、「青色」は、すでに地域づくりに取り組まれている方におすすめですが、あくまで目安ですので、ご自身の興味のあるテーマのプログラムにご参加ください。

主催：環境省